

府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画 市民説明会 結果の概要

【開催概要】

日 時：

平成 17 年 11 月 27 日（日）14:00～16:00 中央文化センター（参加者：21 名）

平成 17 年 11 月 28 日（月）14:00～16:00 白糸台文化センター（参加者：7 名）

平成 17 年 11 月 29 日（火）18:00～20:00 西府文化センター（参加者：4 名）

内 容：1 府中市高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の概要説明

（府中市の介護予防ビデオ・見守りネットワークの上映）

2 意見交換

【意見交換の内容】★印は、ご意見シートに記入された意見

○新しい介護保険制度の内容について（3 件）

意見 新しい制度を市民に理解してもらうことに十分配慮してほしい。見直しの内容についてはいろいろな噂があり、また、デイサービスの食費が自己負担になったことなどは質問されてもわからない。「市民しか利用できない」サービスについては、全国区だった介護保険がどう変わるのか、市の境界に住んでいる人への配慮もお願いしたい。いずれにしても市民にわかるような、根気を入れた説明をお願いしたい。

質問 ①老健に勤めているが、改正によって何がどう変わってくるのか伝わってこない。

改正により要支援 1、2、要介護 1～5、非該当となるのは分かるが、介護保険の事業はどの段階から使えるのか。介護給付、新介護予防給付、介護予防事業、地域支援事業等がどういう関係をもち、1 割負担で使えるのか、また府中市で行う事業はどれなのかという図式を見たい。

②要介護 1 の人の 70～80%が要支援 2 になると聞いているが、今、要介護 1 で家庭の事情等で老健に入所している人が要支援 2 になった場合、サービスが使えなくなる。そのような場合どうなるのか。

③今の介護保険事業で事業をしているところは、介護予防や地域支援事業とどうかかわるのか。例えば市の委託のスペースをつくるなどは可能なのか。

質問 来年の 4 月からのスタートだが間に合うのか。

○財源について（2 件）

意見 ①保険料の財源は、国の公費が 25%であるが、そのうちの国から市への調整交付金が市によっては入ってこないで第 1 号保険料で補填していると聞いたが、府中市ではどうか。

②府中市では地域包括支援センターが1箇所となるが、在宅介護支援センター10箇所はどのようになるのか。連携をとるとのことだが、予算減少見通しの予定とも聞くが、どうか。

質問 地域支援事業と高齢者福祉事業は税金で行われているのか。

○保険料について（5件）

質問 保険料の負担額はどうか。今後、市の役割が大きくなってくると思うが、たとえば片町と天神町で格差が起きないような監督的な部署は市役所内にできるのか。介護にかかわる職員のレベルの差についてはどうか。

質問 介護保険料の未払い者についてはどうなっているか。

質問 65歳以上から保険料が年金から引かれる。所得からだけでは支払いが難しい場合、資産をおさえる必要もあるのではないか。

意見 介護保険を利用しないと損、給付をもらわないと損だという老人たちがいる。そういう考えに疑問を感じる。

もう一つ新聞で読んだことだが、年金暮らしの元公務員が施設に入り、1割負担となった。死亡して家も年金も財産も残ったが、独身だったので甥が相続した。一方で介護保険を使って、一方で財産が残る。介護保険の使われ方に疑問をもった。介護保険を払う人、使う人の両方が成り立たないとうまくいかないと思う。

意見 保険を使わなければ損だという意識は負担が1割で安すぎるためではないか。

○介護報酬について（2件）

質問 居宅介護支援の報酬が見直され、「独立型居宅事業所」が評価されると聞いた。市ではどのように考えているか。

質問 機能訓練の料金を、月に4回500円を払っている。今後はこういう事業に対して利用料とは別に事業者に介護給付が払われるのか。

○要介護認定について（3件）

意見 要介護認定は杓子定規で行うのではなく、80歳以上の方には基準から外れても何か援助を行うべきだと思う。私の知り合いの普通に歩いて出かけられる方で、要介護4の方がいる。家族の方は、3万円払えば、ショートステイで2週間面倒を見てもらえらと言っていた。

意見 いざという時のために要介護認定を受けている方が多いので、1人暮らしの高齢者

が病気になった際、回復するまでの何日間か滞在でき、面倒を見てくれる施設があると良い。

- ★質問 要支援 1、2、地域支援事業のハイリスク 5%の人は、どの様に決定するのか（全員に面接をして再認定とか）。

○介護予防について（4 件）

意見 現在要支援で電動車いすを利用しているが、来年から利用できなくなるかもしれない、と聞いて心配している。介護予防については、自分も介護予防健診を受けて、栄町体育館で「ころばん体操」を 2 ヶ月受けた。随分調子がよくなったので 2 ヶ月だけでなくずっと続けられるようにしてほしい。今都営住宅に住んでいるが、周りに高齢者や障害者が多くなったと感じている。今は健診や体操は大きな体育館に集まってやっているが、自分も含めて市役所の福祉課とか大きな体育館に顔を出すのは恥ずかしいと思う人も多いので、もっと地域でできないかと思っている。

意見 私も栄町の「ころばん体操」の 8 回シリーズを受けている。今度 12 月に結果の測定があるので楽しみにしている。気になっているのは脱落する人が出ることである。ぜひ先細りにならないような対策を考えていただきたい。

もうひとつ芸術劇場の敬老会で歌手を招聘してイベントが行われている。自分も周囲の人も余り行っていないのだが、そこに使われる費用とのバランスで、介護予防事業が先細りにならないための手立てが取れないか。その点を頭に入れていただきたい。

意見 65 歳以上は体操なども呼びかけないと出てこない。

質問 非該当者への事業は体育館や文化センターでも行い、そこに介護費用が入るのか。

- ★意見 介護予防について提案します。運動器の機能向上について、地域に密着型のサービス場所として、文化センター、老人会を通じて自治会館、公衆浴場、空き店舗（社会貢献で安い費用で提供してもらう）など、できるだけ多くのサービス場所を提供し、運動すれば自分の足でいつまでも歩けることを PR して、運動指導員の養成、地域で継続的に介護予防に取り組む自主グループの養成、支援をお願いします。私は 11 月 17 日 18 日 19 日ふちゅうテクノフェアに、ももあげ股開き運動器を展示、実演していました。その機器はいつ迄も歩け、転倒、骨折が予防でき、また生活習慣病の予防、改善にもお役に立ちます。私案として文化センターは使用料はとれませんが、自治会館、昼間の公衆浴場、店舗などは助け合いの心で使用料ひとりあたり 20 円～30 円支払って戴き使用料の半分は器具代金残りの半分は経費に充当します。人には自尊心があり少しでも使用料を払うと使用することに対して遠慮なく使用でき、心が満たされ、欲とふたりづれで運動も力がはいり、元気になって

きます。百聞（ひゃくぶん）は一見（いっけん）に如（し）かず。ご指示があればいつでも運動器持参します、ご試用のほどお願いします。ご納得の上ご採用よろしくお願い申し上げます。

○新予防給付について（2 件）

質問 新予防給付のケアプランは委託になるのか？

質問 ①厚生労働省のQ & Aを読むと予防の流れは一体でなければならないと書いてある。そうすると逆に現在のデイサービスなどは介護と予防とを分けて行う必要があって、現在のように介護中心だと、予防を同じ施設ではできなくなるのではないか。
②Q & Aではプラン作成を「安易に委託してはならない」と書いてあるが、3,000 人のプランを果たしてセンターがまかなえるのか。

○地域支援事業について（2 件）

質問 地域支援事業のプラン、サービスには費用がかかるのか？

質問 地域支援事業はどういったものか。

○いきいきプラザについて（4 件）

意見 いきいきプラザは新町のような遠いところからの利用は不便である。全市から利用できるよう足の便を確保してほしい。

意見 いきいきプラザの運営はどのような形態か？

質問 いきいきプラザでは、具体的に何を行うのか。私の母は 89 歳で要介護 1 だったのだが、デイサービスなどに通ったこともあって、要支援になった。しかし、要支援になったことによって、上限が下がってしまったため、自費でデイサービスに通うと思ったところ、1 日 8 ～ 9 千円もかかるということであった。それを母に話すと、そんなに高い金を払うほどの内容ではないと怒った。だから、自分で母が望むようなデイサービスを開設しようと思い、都庁に説明を聞きに行ったのだが、施設に様々な条件が必要であるということだった。自宅では開設できないと思ったのだが、府中市も都の基準と変わらないのか。

意見 内容のわりに値段が高すぎるということである。家族としては高齢者が家に 1 人でいると心配なので、通える施設は必要である。

○地域での拠点づくりについて（1 件）

質問 地域の方々が集まれる場所を自宅につくりたいのだが、どこに相談すれば良いか。

○在宅介護支援センターについて（２件）

意見 いきいきプラザについて市民は知らないと思う。市は広報しているのですか。先日、「〇〇〇」に知り合いの方と行って、はじめて担当地域以外の在宅介護支援センターで相談を受けてもらえることを知った。府中市が出しているパンフレットでは、地域によって担当する在宅介護支援センターが決まっているように書いてあるので良くないと思う。私の地域は「〇〇〇〇」になるのだが、私の地域の方々は、みんな「〇〇〇〇」には行きたくないと言っている。

意見 在宅支援センターの活動は他の市区町村に比べて遜色ないということだが、制度の説明については、社協のお知らせ等で見たことがない。資料を見ても居宅やら在宅やら使い分けてあったりしてよく分からない。もっと地域に密着してPRしてほしい。この文化センターでコーナーを設けていろいろ聞けるようにしたらどうかと思う。

○地域包括支援センターについて（２件）

質問 府中市では地域包括支援センター運営協議会はどのように考えているのか？

質問 地域包括支援センターは市で直営ということだが、1,800人から2,000人のマネジメントを地域包括支援センターのスーパーバイザーだけで管理できるのか。在宅支援センターが連携するとしたら、基幹型も在宅支援センターの１つになるのか。

○高齢者保健福祉計画・介護保険事業計画の内容について（２件）

★意見 介護を受ける方も、介護をする方も、両方が生きがいを持てる事業を計画してください。

★意見 H18年４月からの実施は決定されているのに実行計画の詳細が見えないのは心配である（予算面、人員配置、設備投資等）。

○パブリックコメントについて（１件）

意見 パブリックコメントの扱いだが、紙に質問や意見を書いて出したときに、市の見解が文章やホームページで返されるのか。こういう説明会をいろいろなところでやってほしい。知らない人がとても多い。

○その他（１件）

★感想 申し訳ありません。私は府中市民ではありませんが、参加させていただいて非常に勉強になりました。介護保険は地域保険、市民保険ということが良くわかりました。